

皆さんののおかげで 「広報たかしま」200号

平成17年1月に創刊した「広報たかしま」が、今月号で200号を迎えます。
発行にご協力いただいた皆さん、毎号楽しみにしてくださっている皆さん、すべての市民の皆さんに心から感謝しています。

広報誌の大きな役割は、市からのお知らせをお届けすることですが、それだけではありませぬ。がんばる市民の皆さんの姿を掲載したり、5・7・5コーナーに投稿していただいたり、市民の皆さんと一緒に創ることにより、自分たちの市のことを自分たちで考えるきっかけにしたいだければ・・・という思いも込めています。



「広報紙」の表紙はカラーです

【広報誌が出来るまで】
市のお知らせ、いただいた情報を基に、誌面の構成を広報グループで検討します。

企画
取材
編集
校正
印刷
納品
配布

取材が必要なものは現場へ行き、原稿を作成します。
パソコン上で、原稿、写真などを配置し、レイアウトを作成します。

作成した紙面データに誤りがないか確認を行います。校正は2回行っています。

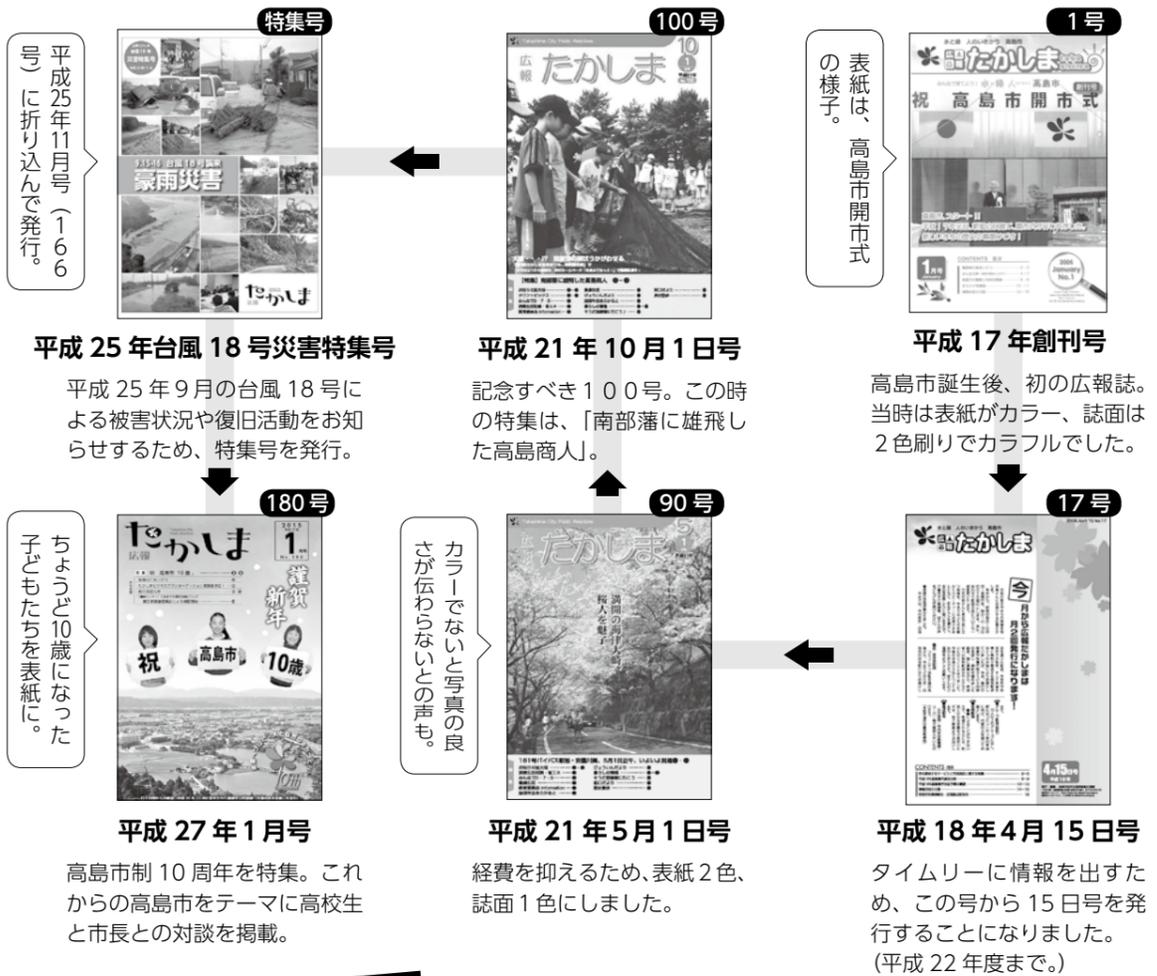
印刷会社が、印刷、製本を行い、配布日の前日までに本庁や各支所に納品します。

月末に市民の皆さんや関係機関にお届けしています。また、ホームページやスマートフォンアプリ「広報紙」でも配信しています。

「広報紙」のダウンロードはこちらから。
App Store
Google play



振り返る「広報たかしま」の歩み



歴代担当者に聞く！ 歴代広報担当者が当時のエピソードを語ります。

●広報での経験が礎に

私が広報担当課へ異動してきたときは、ちょうど広報誌が月2回発行となった年でした。
広報誌の制作期間は約1か月で、印刷の期間を除くと編集に費やせるのは約2週間。限られた時間の中で、各担当から提出された原稿をチェックし、何度も読み返しては文章を練り直し、少しでも読みやすく、紙面の組み立てに頭を悩ませました。そして、ようやく印刷に出したと思ったら、すぐ次の号に取り掛かるといふ、当時は本当にその繰り返しでした。また、広報のネタを求めて、カメラを担いで北へ南へ東へ西へ、正に山の頂きから湖の上までいろんなところへ取材にお邪魔しました。そこで、多くの市民の皆さんにお会いし、たくさんのお話を聞かせていただきました。
この経験が、今では大きな礎となっています。



土木課 大森 康彦
平成18～25年度に広報担当。17号から171号まで携わる。

●市民参加型のコーナーを企画

記念すべき広報たかしまの創刊時の担当をさせていただきました。創刊当時は伝えるべき情報がたくさんある中で、大事なものを選択して「いかにわかりやすく伝えられるか」にとても気を使った記憶があります。また、とにかく地域を知らなくては！と思い、休みのたびに市内中を走り回ったことも良い思い出です。
広報にはさまざまなコーナーがありますが、中でも一番思い出深いのが創刊第6号から始めた“みんなのページ”です。一方的にお伝えするだけでなく“市民の皆さんと一緒に創るページを”との想いから企画し、当時は川柳以外にも写真やイラストも掲載していました。これからも広報たかしまに、皆さまの声と想いをお届けください。



市民協働課 清水 潤平
平成16、17年度に広報担当。創刊号から16号まで携わる。

「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは・・・

将来にわたって安心して暮ら続けることができる、持続可能な地域社会づくりに取り組むため昨年策定した計画です。

- 4つの基本目標
- ①高島における安定した雇用を創出する
 - ②高島への新しいひとの流れをつくる
 - ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④時代に合った地域を作り、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 事業紹介
- 雇用創出実践メニュー
 - ・高島産品や発酵食の新展開
 - ・商品・サービス開発事業
 - ・森林資源を活用した商品開発事業
 - 就職支援メニュー
 - ・合同就職面接会の開催
 - ・就職支援情報発信提供事業
 - （ホーメーシ開設・情報誌の発行など）

高島地域雇用創造協議会とは
実践型地域雇用創造事業「たかしまの未来を創るシゴトおこしプロジェクト」として、「農業振興分野」と「商工業振興分野」に重点を置き、人材育成や雇用拡大の研修、セミナーを開催しています。
組織は市内の7団体で構成され、「高島市の区域において、地域雇用創造の核となる産業における新たな雇用創出の促進」を目的としています。



▲林業施業基礎講習

参加無料

高島地域雇用創造協議会 開催セミナー

- 《WEB業務セミナー》
WEB発信の基礎と、伝わる文章と写真の撮り方
 - 《地域食を活用した商品・サービス開発セミナー》
商品開発と、人が集まる本気の「場づくり」教えます!
 - 《売れる商品づくりセミナー》
「いいもの」=売れる ではない、あなたの商品をお持ちください!
 - 《林業施業基礎講座》
目指せ! 林業ビジネス～森のシゴトの基礎を学ぶ～
- 詳しくはホームページをご覧ください。
高島地域雇用創造協議会
☎(25) 5731
http://www.takashima-shigoto.jp

「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業の取り組みを紹介するコーナーの第4弾です。今回は、基本目標①「高島における安定した雇用を創出する」の取り組みとして「実践型地域雇用創造事業」を紹介します。

実践型 地域雇用創造事業

高島で働く場所を創造する

高島地域雇用創造協議会の取り組み

高島地域雇用創造協議会とは

昨年度の成果

平成27年度は、求職者、創業希望者、事業主向けのセミナーや合同就職面接会を開催しました。これらにより、市内での雇用が60人、創業が6つ生まれました。

また、森林・発酵食分野では、高島の板材をふんだんに使った平屋を紹介する事業や、新しい発酵食の創出、発酵食作りの要点をまとめたなど、広く高島を知っていただける工夫を重ねました。

総合戦略課

☎(25) 8114

今年度の取り組み

引き続き市内での雇用創出を目指し、農業・林業・発酵の分野で求職者、創業希望者、事業主向けのセミナーを行います。

また、森林・発酵食分野での新商品開発にも力を入れます。協力事業者の皆さんとともに高島市ならではの魅力的な商品を開発・改良し、販売に結びつけていきます。

②写真撮影・取材



①打ち合わせ

③原稿・レイアウト作成

初めての取材体験でしたが、皆さんのおかげでなんとかできました。広報たかしまはタイトルや写真がわかりやすいと思います。周りの身近な記事や、カラー写真があれば、もっと読みたくなると思います。

前川 遥希くん

とても貴重な取材体験ができました。記事づくりは学校で作るものとは気持ちの入り具合が違いました。広報誌は、まちのことが幅広く書かれていますね。コラムや連載小説のようなものもあるとおもしろいと思います。

寺尾 駿輝くん

今号の14ページに掲載されています。ぜひご覧ください!

広報誌づくりを体験 僕たちが取材しました!

8月1日・2日と、今津中学校の生徒2人が秘書広報課に職場体験に来てくれました。職場体験では、実際にイベント取材し、原稿作成、写真撮影、レイアウト作成までしていただきました。

今号の14ページに掲載されています。ぜひご覧ください!

▼私たちが広報担当です

現在、広報誌の作成は、広報グループ3人で手分けをして行っています。主担当(左)の200号を振り返っての想いは、編集後記をご覧ください。



▼QRコードで動画が見れる!

「インターネットテレビ 高島みてねっと!」と連携しています。広報誌面タウンピックアップコーナー等にあるQRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、関連動画をご覧いただけます。



受賞歴 (過去5年)

- 【近畿市町村広報紙コンクール】
 - ・第28回(平成27年) 優良賞
 - ・第27回(平成26年) 優良賞
- 【滋賀県広報コンクール】
 - ・平成27年 広報紙の部 協会長賞
 - ・平成26年 広報紙の部 協会長賞
 - ・平成25年 広報紙の部 知事賞
 - ・平成23年 広報紙の部 知事賞
 - ・平成23年 広報写真の部 知事賞

【皆さんと作る広報】

平成17年に、「市民の皆さんと一緒に創るページ」を、との思いで生まれたコーナーは、現在、「みんな575」コーナーとして、幅広い年代の方から多くの参加をいただいています。

また、タウントップピックスコーナーでは、催しの結果以外に、スポーツで活躍された皆さん、日頃の取り組みを表彰された皆さん、またがんばっておられる自治会の活動などを掲載しています。こういった身近な市民の皆さんの話題を掲載することで、新たな市の魅力の発見があると思います。これからも、皆さんに愛され、

情報をお寄せください!

地区のイベントや地域で活躍されている方など、広報誌に掲載を希望される方は情報をお知らせください。
(内容等により掲載できない場合がありますが、ご了承ください。)

秘書広報課

☎(25) 8000